

研究課題番号	4MF-2202
研究課題名	保全ゲノミクスによる保護増殖事業対象種の存続可能性評価
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	井鷲 裕司

1. 委員の指摘及び提言概要

希少種の有効集団サイズについて、歴史的変化を明らかにすることは、今後の保全策を考える上でも重要な視点であり、興味深い。アカガシラカラスバトで実施された過去数百年以内の変化パターンの推定 (GONE) は、人為的インパクトを知る上で、多くの知見を提供している。当初計画になかった種についても分析が進められたことは高く評価できる。今後、本研究の手法が他の絶滅危惧種にも適用され、保全に活用されることを期待する。学術的なインパクトもあるので今後学術論文として公表されることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S